

フォレスター活動民国連携調整会議通信

＜優良事例の紹介＞

Vol.3 2021.3

フォレスター活動民国連携調整会議は、北海道及び北海道森林管理局の森林総合監理士（フォレスター）等が、市町村等への技術的援助やその他必要な協力を円滑かつ効果的に実施するため、情報共有の徹底と連絡・調整等を図ることを目的に設置しています。

北海道幕別町

一般民有林のコンテナ苗木による造林の普及推進 ～植付・生産状況調査の実施及び 効率的な造林作業に向けた意見交換会の開催～

十勝地域林政連絡会議の活動

＜関係機関＞

幕別町、幕別町森林組合、林業事業者、種苗生産者、十勝東部森林管理署、十勝総合振興局 森林室・産業振興部林務課 等

背景と経過

現 状

管内では、造林作業の労働力が不足傾向にある。コンテナ苗木による造林作業は、主に国有林と道有林が実施しており、一般民有林では今後の普及が期待されている。

問題点

造林業者が苗畑から造林地まで苗木を運搬していることや、保冷施設から出荷されたコンテナ苗木の根鉢が凍り付いて固まっている場合があるなど、植付作業が非効率になっている。

課 題

効率的な造林作業に向け造林業者と種苗生産者の連携を強化し、問題点を解決しつつ、コンテナ苗木の普及を図ることが必要。

解決策

国有林・道有林・一般民有林の造林事業関係者による意見交換会などを開催し、コンテナ苗木による造林作業の効率化を検討し、労働力不足の改善に繋げる。

実施の状況と結果

① コンテナ苗木植付状況調査の実施

【実施内容】

時期：令和2年5月22・29日

場所：国有林（本別町）、道有林（浦幌町）

内容：国有林及び道有林が実施しているカラマツ・トドマツコンテナ苗木の植付方法及び作業者への聞き取り調査を実施

【成果】

コンテナ苗木の植付では、苗木の小運搬方法や専用器具の改良など効率化を図っているが、植付作業者が遠方の苗畑まで苗木を取りに行っていることや、コンテナ苗木の根鉢が凍り固まって植付しにくいなどの問題等を把握できた。



聞き取り調査
(国有林)



植付
(道有林)

② コンテナ苗木生産状況調査の実施

【実施内容】

時期：令和2年6月17日

場所：種苗生産者(有)大坂林業

内容：コンテナ苗木の生産状況等の現状を把握

【成果】

種苗生産者は、コンテナ苗木の生産規模拡大や苗木管理の徹底及び苗木配送の仕組みづくりなど、効率的な造林作業に向けて苗木づくりを行っており、各状況調査の結果、造林作業者と種苗生産者とのアンマッチを把握することができた。



苗木の
育苗施設



苗木の
生産状況

③ 効率的な造林作業に向けた意見交換会の実施

【実施内容】

時期：令和2年8月31日

場所：幕別町忠類総合支所会議室

内容：国有林・道有林・一般民有林の造林事業関係者によるコンテナ苗木生産施設の見学及び意見交換会を開催

【成果】

意見交換会により、コンテナ苗木の植付方法や生産状況について情報共有が図られ、現状の問題点が明らかになった。結果、①規格段ボール梱包のコンテナ苗木は一般配送業者を想定、②出荷日に合わせて保冷施設からコンテナ苗木を事前に出すことが可能など、今後の改善に向け連絡調整・連携強化の必要性が理解された。



意見交換会

今後の展開

引き続き、一般民有林におけるコンテナ苗木の造林の普及に向けて、民国連携による推進を展開していきます。

ICTを活用した市町村への支援

市町村森林整備計画実行管理推進チームの活動

<関係機関>

空知管内市町村、森林組合、空知総合振興局森林室・産業振興部林務課、空知森林管理署・空知森林管理署北空知支署 等

背景と経過

現 状

空知管内の一般民有林の人工林は、カラマツとトドマツが80%を占め、その約8割は8 齢級以上となっているが、約5割以上の森林で間伐等の森林整備が進んでいない。

問題点

森林環境譲与税を活用し、手入れの進んでいない森林をどのように整備を進めるかなど市町村に求められる役割は益々大きくなっているが、市町村では人員が不足していたり経験が少ない職員も多く、森林所有者への意向調査に向けた組織体制が脆弱であるため森林整備が進んでいない。

課 題

市町村森林整備計画実行管理推進チームが中心となり、市町村職員の森づくりに関する知識・技術の向上が必要。
手入れの進んでいない森林の中には、森林の状況が十分に把握されていない箇所も多いため、先進技術を用いた効率的かつ細かな林況の把握が必要。

解決策

- ① 市町村森林整備計画実行管理推進チームによる市町村職員等に対する森づくりに関する技術支援。
- ② ドローン等ICTを活用した最新の技術による林況調査の実施。
- ③ 森林所有者に間伐等の森林整備に関心を持ってもらうため、視覚に訴えた分かりやすい施業提案書による森林経営計画への加入促進。

実施の状況と結果

① 森林資源の把握

時期：令和2年6月24日

場所：三笠市一般民有林等

内容：市町村森林整備計画実行管理推進チームでは、今まで間伐等の手入れをしていない三笠市一般民有林の整備を重点的に進めるため、ドローンによる空撮及び林内調査を行うこととし、森林管理署職員がドローン等のICT関係を担当した。

空撮チームはデモフライトのほか、市や森林組合担当者に操作方法などを説明し、実際に操作を体験させ、操作技術の向上を図った。

また、調査チームも標準地調査を実施後、経験の浅い人でも簡易に調査を行える全天球カメラによる林分調査方法について説明した。



三笠市一般民有林の全景



全天球カメラを使っでの林分調査

② 森林整備の検討

時期：令和2年9月9日

場所：三笠市役所

内容：森林所有者に対する意向調査の資料を作成するため、市、振興局、森林管理署の3者で撮影したドローン画像から林分状況を確認し、森林整備可能箇所の検討を行った。

想定したよりも細かな沢が多かったため、搬出路の取付口をどうするか、国有林、道有林の路網から接続して搬出できないか、搬出距離が長く採算が合うのかなど意見を出し合い、森林所有者への説明資料を作成した。

後日、市担当者、森林室が三笠市在住の森林所有者4名に対して、森林経営計画への加入推進並びに森林整備への推進活動のため戸別訪問を行った。ドローンによる画像や林分調査結果を所有者へ説明する参考資料として添付したことにより森林の状況が一目で分かり、具体的な説明に活用できた。



伐採方法や路網配置を検討



ドローンの画像を示しながら森林所有者に説明

③ 市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議での報告

時期：令和2年10月6日

場所：芦別市総合福祉センター

内容：空知地区市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議において、三笠市、振興局、森林管理署の3者で三笠市一般民有林での取組について報告するとともに、管理署職員からドローン画像の分析結果及びオルソ画像の作成・分析方法について説明した。

今回の取組について、市、振興局担当者に意見を聞いたところ、「各自治体も人事異動による人の入れ替わりが早いことから、山に関する基礎知識の習得に向けた支援を、今後とも継続してほしい。」との要望があった。



空知地区市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議で説明

今後の展開

- ・ 振興局と国有林の持っている知見を生かしながら、今後も森林づくりに対する技術支援に取り組んでいきます。
- ・ ドローン等によるICT技術は絶えず進歩をしていることから、日々、技術の研鑽に励んでいきます。

発行：フォレスター活動民国連携調整会議事務局

北海道水産林務部森林環境局森林活用課

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
電話(011)204-5517(直通)

北海道森林管理局森林整備部技術普及課

〒064-8537 北海道札幌市中央区宮の森3条7丁目70番地
電話(011)622-5245(直通)